

旧畠山一清邸新座敷移築復元工事

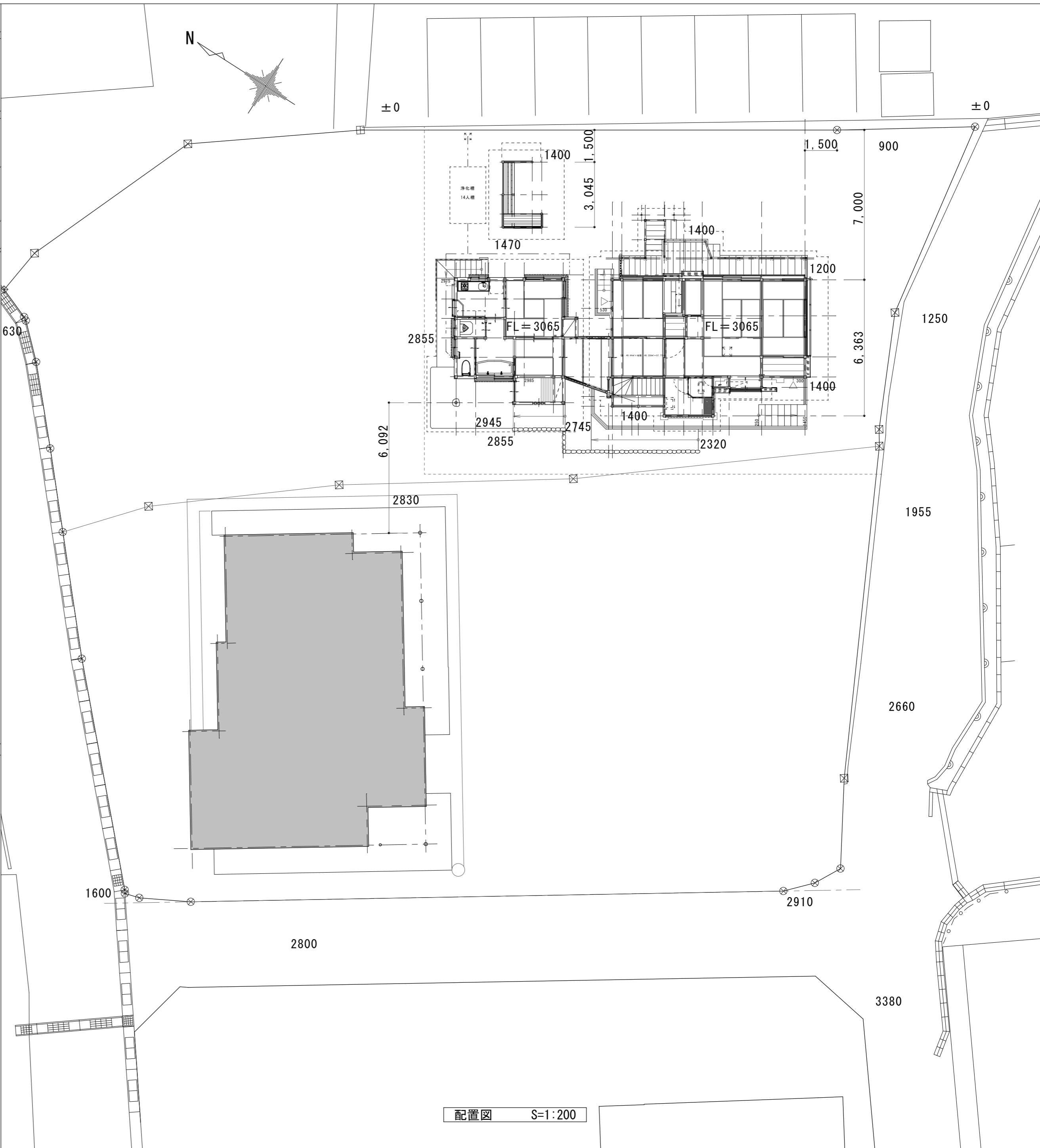
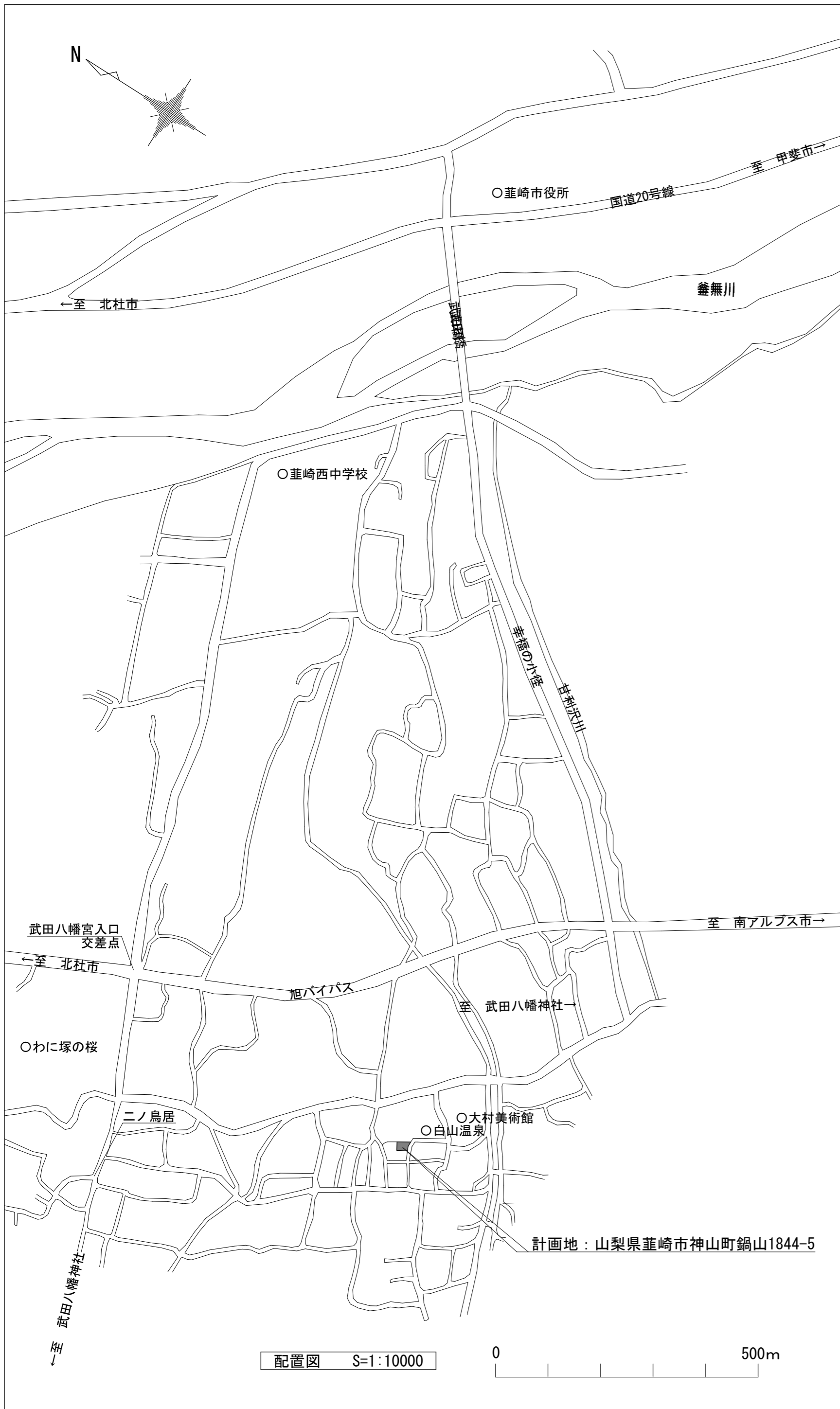
新座敷・増築棟・腰掛待合 設計図面

山梨県韮崎市神山町鍋山地内

設計 洋設計室

図面リスト

案内図／配置図		01	増築棟 工事概要／仕上表		58
配置詳細図		02	平面図		59
特記仕様書 1～7		03～09	立面図(東,南,西,北)		60～63
新座敷 工事概要／仕上表		10	断面図(4面)		64～67
1階、地階平面図		11	展開図(6室)		68～73
1階、地階平面詳細図		12、13	建具表		74
立面図(東,南,西,北)		14～17	再利用及び新規照明器具リスト		75
断面図(3面)		18～20	〃 構造 基礎伏図		76
展開図(10室)		21～30	基礎断面及び配筋図1,2		77、78
土台伏図		31	土台及びアーカーホルト伏図		79
鉄骨・小梁・根太掛伏図		32	根太伏図		80
胴差し伏図		33	梁伏図		81
1階根太伏図		34	小屋及び垂木伏図		82
小屋梁伏図		35	腰掛待合 工事概要／仕上表		83
母屋・棟木伏図		36	平面図		84
垂木伏図		37	立面図		85
屋根伏図		38	断面図		86
1階天井伏図		39	屋根伏図・天井伏図		87
地階天井伏図		40	基礎伏図		88
軸組図1～2		41、42	全体 立面図(東,南,西,北)		89～92
墨書き痕跡図		43	外構図 平面図		93
既存建具リスト		44	平面部分詳細図		94
既存照明器具リスト		45	断面図 1～3		95～97
〃 構造 基礎伏図		46			
基礎断面図 1, 2		47、48	電気 電気関係図面		98～110
基礎側面図		49			
基礎配筋図		50	設備 給排水管設備図		111
制振ダンパ設置計画図1,2		51、52			
制振ダンパ仕様及び取付図		53	空調設備 空調設備図		112
ビルトインEC設置計画図1～3		54～56			
水屋給排水計画図		57			



旧島山一清邸新座敷移築復元工事 設計図		章 項目		特記事項		⑩ 材料の品質等		⑮ 完成写真																																					
令和5年7月(全 枚)		① 一般共通事項		<ul style="list-style-type: none"> ① 適用基準等 <ul style="list-style-type: none"> 建築工事標準詳細図（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 工事写真の撮り方 建築編 建設大臣官房官庁営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部 公共建築工事改修工事標準仕様書（最新版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部 文化財建造物保存修理工事等の実績 国指定重要文化財の施工実績提出（10年以内） ② 届出手続等 ※ 適用する ③ 工事実績情報の登録の登録 ※ 適用する 「OORINS」の登録を行うこと（請負工事費が500万円以上） 4 電気保安技術者 ・ 適用する ⑤ 工事施工計画書 次の工事施工計画書を提出すること。軽微な工事は必要としない。 <ul style="list-style-type: none"> 総合施工計画書（総合的な計画をまとめたもの。） 工種別施工計画書（工種は監督職員の指示による。） このなかで、安全対策・使用材料・施工体制（下請け施工者の責任者等）も明らかにすること。 ⑥ 施工条件 下記以外は現場説明書による。 <ul style="list-style-type: none"> 工事用車両の駐車場 ※ 図示 ・ 資機材置場 ※ 図示 ・ 建設発生土仮置場 ※ 図示 ・ ※ 地中埋設物について、図面及び現地により、詳細に調査すること。 ⑦ 発生材の処理等 ※ 現場説明書による <input type="radio"/> 構外搬出適切処理 ⑧ 環境への配慮 化学物質を放散させる建築材料等 <ol style="list-style-type: none"> 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 <ol style="list-style-type: none"> 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MD F、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接剤、保温剤、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しない又は放散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。 ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ない材料を使用したものとする。 設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。該当する材料が無い場合は監督員の承諾を受けF☆☆☆のものを採用する。 		<ul style="list-style-type: none"> 11 特別な材料の工法 標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 ⑫ 技能士 ※技能士の活用を積極的に図ること。施工計画書に技能士の氏名・資格証明を添付すること。 		<ul style="list-style-type: none"> ⑬ 他工事又は他工種との取合い ⑭ 設計G L 																																					
I 工事概要		② 現場説明書による		<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工種別</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td><input type="radio"/> とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td><input type="radio"/> 鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td><input type="radio"/> シーリング防水工種作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td><input type="radio"/> 大工工種作業及び文化財木工研修修了者</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td><input type="radio"/> 瓦葺き工種作業 <input type="radio"/> 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td><input type="radio"/> 木製建具施工作業 ・ 自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td><input type="radio"/> 建築塗装作業</td> </tr> </tbody> </table>		適用工種別	技能検定作業	仮設工事	<input type="radio"/> とび作業	鉄筋工事	<input type="radio"/> 鉄筋組立作業	防水工事	<input type="radio"/> シーリング防水工種作業	木工事	<input type="radio"/> 大工工種作業及び文化財木工研修修了者	屋根及びとい工事	<input type="radio"/> 瓦葺き工種作業 <input type="radio"/> 内外装板金作業	建具工事	<input type="radio"/> 木製建具施工作業 ・ 自動ドア施工作業	塗装工事	<input type="radio"/> 建築塗装作業	<ul style="list-style-type: none"> ⑯ 他工事又は他工種との取合い ⑰ 設計G L 																							
適用工種別	技能検定作業																																												
仮設工事	<input type="radio"/> とび作業																																												
鉄筋工事	<input type="radio"/> 鉄筋組立作業																																												
防水工事	<input type="radio"/> シーリング防水工種作業																																												
木工事	<input type="radio"/> 大工工種作業及び文化財木工研修修了者																																												
屋根及びとい工事	<input type="radio"/> 瓦葺き工種作業 <input type="radio"/> 内外装板金作業																																												
建具工事	<input type="radio"/> 木製建具施工作業 ・ 自動ドア施工作業																																												
塗装工事	<input type="radio"/> 建築塗装作業																																												
II 建築工事仕様		③ 現場説明書による		<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>主な作業</th> <th>主たる技能者</th> <th>一般技能者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">大工</td> <td>木工事</td> <td>(財)文化財建造物保存技術協会による「建造物修理」「建造物木工」の研修を終了した者で堂宮建築の知識を有するもの、又はこれに準ずる技能と知識を有すると認められた者</td> <td>木造建造物の造作工に従事し、改修・繕い工事なども行う経験豊かな者</td> </tr> <tr> <td>繕い補修</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新材加工</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">解体工</td> <td>解体工事</td> <td>文化財建造物の解体修理経験者</td> <td>古民家等の解体経験が豊かな者</td> </tr> <tr> <td>瓦葺工事</td> <td>文化財建造物の修理経験者 役物瓦・屋根下地を含む伝統技法による実績を有する者</td> <td>左記に準ずる者</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">左官</td> <td>左官工事</td> <td>文化財建造物の修理経験者 材料の調査等の知識を含む伝統技法による小舞下地・土壁塗・漆喰塗・土間三和土の実績を有する者。</td> <td>土壁塗・漆喰塗の経験豊かな者</td> </tr> <tr> <td>基礎工事</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑工事</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">建具工</td> <td>建具工事</td> <td>伝統技法による木製和風建具・洋風建具の製作・取付け及び修理等の実績を有する者</td> <td>左記の補助的技能者</td> </tr> <tr> <td>石工</td> <td>基礎工事 雑工事 礎石類据付</td> <td>伝統技法による木造建造物の自然石を用いた礎石等の据え付け及び修理等の実績を有する者</td> </tr> </tbody> </table>		職種	主な作業	主たる技能者	一般技能者	大工	木工事	(財)文化財建造物保存技術協会による「建造物修理」「建造物木工」の研修を終了した者で堂宮建築の知識を有するもの、又はこれに準ずる技能と知識を有すると認められた者	木造建造物の造作工に従事し、改修・繕い工事なども行う経験豊かな者	繕い補修			新材加工			解体工	解体工事	文化財建造物の解体修理経験者	古民家等の解体経験が豊かな者	瓦葺工事	文化財建造物の修理経験者 役物瓦・屋根下地を含む伝統技法による実績を有する者	左記に準ずる者	左官	左官工事	文化財建造物の修理経験者 材料の調査等の知識を含む伝統技法による小舞下地・土壁塗・漆喰塗・土間三和土の実績を有する者。	土壁塗・漆喰塗の経験豊かな者	基礎工事			雑工事			建具工	建具工事	伝統技法による木製和風建具・洋風建具の製作・取付け及び修理等の実績を有する者	左記の補助的技能者	石工	基礎工事 雑工事 礎石類据付	伝統技法による木造建造物の自然石を用いた礎石等の据え付け及び修理等の実績を有する者	<ul style="list-style-type: none"> 12 化学物質の濃度測定 ⑬ 完成時の提出図書 	
職種	主な作業	主たる技能者	一般技能者																																										
大工	木工事	(財)文化財建造物保存技術協会による「建造物修理」「建造物木工」の研修を終了した者で堂宮建築の知識を有するもの、又はこれに準ずる技能と知識を有すると認められた者	木造建造物の造作工に従事し、改修・繕い工事なども行う経験豊かな者																																										
	繕い補修																																												
	新材加工																																												
解体工	解体工事	文化財建造物の解体修理経験者	古民家等の解体経験が豊かな者																																										
	瓦葺工事	文化財建造物の修理経験者 役物瓦・屋根下地を含む伝統技法による実績を有する者	左記に準ずる者																																										
左官	左官工事	文化財建造物の修理経験者 材料の調査等の知識を含む伝統技法による小舞下地・土壁塗・漆喰塗・土間三和土の実績を有する者。	土壁塗・漆喰塗の経験豊かな者																																										
	基礎工事																																												
	雑工事																																												
建具工	建具工事	伝統技法による木製和風建具・洋風建具の製作・取付け及び修理等の実績を有する者	左記の補助的技能者																																										
	石工	基礎工事 雑工事 礎石類据付	伝統技法による木造建造物の自然石を用いた礎石等の据え付け及び修理等の実績を有する者																																										
1. 共通仕様		④ 現場説明書による		<table border="1"> <thead> <tr> <th>ホルムアルデヒド放散量</th> <th>該当する材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規制対象外</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 下記表示のあるJAS規格品 <ol style="list-style-type: none"> 接着剤等不使用 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒド放散しない塗料使用 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 </td> </tr> <tr> <td>第三種</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> JIS及びJASのF☆☆☆規格品 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 IBJISのEo品 IBJASのFco品 </td> </tr> </tbody> </table>		ホルムアルデヒド放散量	該当する材料	規制対象外	<ol style="list-style-type: none"> JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 下記表示のあるJAS規格品 <ol style="list-style-type: none"> 接着剤等不使用 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒド放散しない塗料使用 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 	第三種	<ol style="list-style-type: none"> JIS及びJASのF☆☆☆規格品 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 IBJISのEo品 IBJASのFco品 	<ul style="list-style-type: none"> 1 足場その他 ② 監督職員事務所 ③ 工事用水 ④ 工事用電力 																																	
ホルムアルデヒド放散量	該当する材料																																												
規制対象外	<ol style="list-style-type: none"> JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 下記表示のあるJAS規格品 <ol style="list-style-type: none"> 接着剤等不使用 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒド放散しない塗料使用 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 																																												
第三種	<ol style="list-style-type: none"> JIS及びJASのF☆☆☆規格品 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 IBJISのEo品 IBJASのFco品 																																												
2. 特記仕様		⑤ 現場説明書による		<ul style="list-style-type: none"> ① 埋戻し及び盛土 <p>埋戻し及び盛土の種類 種類 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 G</p> <p>C種の場合（建設発生土受入量（ ）m3 発生場所：（ ）） D種の場合は「セメント及びセメント系固相材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、六価クロム溶出試験を行う。</p> ② 建設発生土の処理 <p>※ 現場説明書による <input type="radio"/> 構外搬出適切処理（自然公園法届出先） ・ 構内指定場所に堆積 <input type="radio"/> 構内指定場所に敷均し</p> ③ 支持地盤 <p>・ 杭基礎 支持地盤の位置及び種類（基礎ぐい先の先端の位置含む） ・ 図示（ ） ・</p> <p><input type="radio"/> ベタ基礎（土蔵既存部は図示による） 支持地盤の位置及び種類（基礎底部の位置含む） <input type="radio"/> 図示（ ） ・ 試験掘り（根切り底の状態の確認等） <input type="radio"/> 行わない ・ 行う 位置等 ・ 図示（ ） ・ 原位置掘削時の根切りを試験掘りとする</p> ④ 砂利地業 <p>材料 ・ 再生クラッシュラン G <input type="radio"/> 切込砂利及び切込砕石 砂利厚さ ・ 60mm <input type="radio"/> 150mm <input type="radio"/> 100mm 適用箇所 <input type="radio"/> 基礎梁下、基礎スラブ下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ・ 図示（ ）</p> ⑤ 捨コンクリート地業 <p>捨コンクリートの厚さ ※ 50mm ・ 施工範囲 ・ 基礎梁下 <input type="radio"/> 図示（基礎伏図による） 設計基準強度 ※ 18N/mm3 ・ スランプ ※ 15cm又は18cm ・</p> 																																									
1. 工事場所		⑥ 現場説明書による		<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 完成写真 <p>工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>原板の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"><input type="radio"/> カラー</td> <td>※ キャビネ版</td> <td>外部（ 8 ）</td> <td>※2</td> <td rowspan="3">※100×125以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内部（ 8 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外観正面（ ）</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ カラー四切木製パネル</td> <td>外部（ ）</td> <td>※2</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="radio"/> カラー半切パネル</td> <td>外部（ 2 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内部（ 2 ）</td> <td>・ 3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="radio"/> 電子データ</td> <td>外部（ 8 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> <td>※ 500万画素以上</td> <td rowspan="2">※ 280万画素以上</td> </tr> <tr> <td>内部（ 10 ）</td> <td>・ 3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形最高画像とし、CD-Rにて提出する。</p> <p>撮影業者 ・ 建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者 <input type="radio"/> 任意</p> <p>夜景撮影 ・ 行う <input type="radio"/> 行わない 空中撮影 ・ 行う <input type="radio"/> 行わない</p> <p>※ 原板は撮影業者の保管とし、追加プリントの連絡先を成果品に記入すること。 但し成果品提出後の施設実績紹介、実績報告及びPR等での著作権は発生しないものとする。</p> <p>設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>※ 監督員との現地協議による。</p> 		分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ (mm)	<input type="radio"/> カラー	※ キャビネ版	外部（ 8 ）	※2	※100×125以上		内部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2		外観正面（ ）	・	・ カラー四切木製パネル	外部（ ）	※2	・		<input type="radio"/> カラー半切パネル	外部（ 2 ）	<input type="radio"/> 2			内部（ 2 ）	・ 3			<input type="radio"/> 電子データ	外部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2	※ 500万画素以上	※ 280万画素以上	内部（ 10 ）	・ 3				
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ (mm)																																										
<input type="radio"/> カラー	※ キャビネ版	外部（ 8 ）	※2	※100×125以上																																									
		内部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2																																										
		外観正面（ ）	・																																										
・ カラー四切木製パネル	外部（ ）	※2	・																																										
<input type="radio"/> カラー半切パネル	外部（ 2 ）	<input type="radio"/> 2																																											
	内部（ 2 ）	・ 3																																											
<input type="radio"/> 電子データ	外部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2	※ 500万画素以上	※ 280万画素以上																																									
	内部（ 10 ）	・ 3																																											
2. 工事期間		⑦ 現場説明書による		<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 完成写真 <p>工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>原板の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"><input type="radio"/> カラー</td> <td>※ キャビネ版</td> <td>外部（ 8 ）</td> <td>※2</td> <td rowspan="3">※100×125以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内部（ 8 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外観正面（ ）</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ カラー四切木製パネル</td> <td>外部（ ）</td> <td>※2</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="radio"/> カラー半切パネル</td> <td>外部（ 2 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内部（ 2 ）</td> <td>・ 3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="radio"/> 電子データ</td> <td>外部（ 8 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> <td>※ 500万画素以上</td> <td rowspan="2">※ 280万画素以上</td> </tr> <tr> <td>内部（ 10 ）</td> <td>・ 3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形最高画像とし、CD-Rにて提出する。</p> <p>撮影業者 ・ 建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者 <input type="radio"/> 任意</p> <p>夜景撮影 ・ 行う <input type="radio"/> 行わない 空中撮影 ・ 行う <input type="radio"/> 行わない</p> <p>※ 原板は撮影業者の保管とし、追加プリントの連絡先を成果品に記入すること。 但し成果品提出後の施設実績紹介、実績報告及びPR等での著作権は発生しないものとする。</p> <p>設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>※ 監督員との現地協議による。</p> 		分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ (mm)	<input type="radio"/> カラー	※ キャビネ版	外部（ 8 ）	※2	※100×125以上		内部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2		外観正面（ ）	・	・ カラー四切木製パネル	外部（ ）	※2	・		<input type="radio"/> カラー半切パネル	外部（ 2 ）	<input type="radio"/> 2			内部（ 2 ）	・ 3			<input type="radio"/> 電子データ	外部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2	※ 500万画素以上	※ 280万画素以上	内部（ 10 ）	・ 3				
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ (mm)																																										
<input type="radio"/> カラー	※ キャビネ版	外部（ 8 ）	※2	※100×125以上																																									
		内部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2																																										
		外観正面（ ）	・																																										
・ カラー四切木製パネル	外部（ ）	※2	・																																										
<input type="radio"/> カラー半切パネル	外部（ 2 ）	<input type="radio"/> 2																																											
	内部（ 2 ）	・ 3																																											
<input type="radio"/> 電子データ	外部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2	※ 500万画素以上	※ 280万画素以上																																									
	内部（ 10 ）	・ 3																																											
3. 新座敷移築		⑧ 現場説明書による		<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 完成写真 <p>工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>原板の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"><input type="radio"/> カラー</td> <td>※ キャビネ版</td> <td>外部（ 8 ）</td> <td>※2</td> <td rowspan="3">※100×125以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内部（ 8 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外観正面（ ）</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ カラー四切木製パネル</td> <td>外部（ ）</td> <td>※2</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="radio"/> カラー半切パネル</td> <td>外部（ 2 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内部（ 2 ）</td> <td>・ 3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="radio"/> 電子データ</td> <td>外部（ 8 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> <td>※ 500万画素以上</td> <td rowspan="2">※ 280万画素以上</td> </tr> <tr> <td>内部（ 10 ）</td> <td>・ 3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形最高画像とし、CD-Rにて提出する。</p> <p>撮影業者 ・ 建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者 <input type="radio"/> 任意</p> <p>夜景撮影 ・ 行う <input type="radio"/> 行わない 空中撮影 ・ 行う <input type="radio"/> 行わない</p> <p>※ 原板は撮影業者の保管とし、追加プリントの連絡先を成果品に記入すること。 但し成果品提出後の施設実績紹介、実績報告及びPR等での著作権は発生しないものとする。</p> <p>設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>※ 監督員との現地協議による。</p> 		分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ (mm)	<input type="radio"/> カラー	※ キャビネ版	外部（ 8 ）	※2	※100×125以上		内部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2		外観正面（ ）	・	・ カラー四切木製パネル	外部（ ）	※2	・		<input type="radio"/> カラー半切パネル	外部（ 2 ）	<input type="radio"/> 2			内部（ 2 ）	・ 3			<input type="radio"/> 電子データ	外部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2	※ 500万画素以上	※ 280万画素以上	内部（ 10 ）	・ 3				
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ (mm)																																										
<input type="radio"/> カラー	※ キャビネ版	外部（ 8 ）	※2	※100×125以上																																									
		内部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2																																										
		外観正面（ ）	・																																										
・ カラー四切木製パネル	外部（ ）	※2	・																																										
<input type="radio"/> カラー半切パネル	外部（ 2 ）	<input type="radio"/> 2																																											
	内部（ 2 ）	・ 3																																											
<input type="radio"/> 電子データ	外部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2	※ 500万画素以上	※ 280万画素以上																																									
	内部（ 10 ）	・ 3																																											
4. 付属棟新築		⑨ 現場説明書による		<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 完成写真 <p>工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>原板の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"><input type="radio"/> カラー</td> <td>※ キャビネ版</td> <td>外部（ 8 ）</td> <td>※2</td> <td rowspan="3">※100×125以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内部（ 8 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外観正面（ ）</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ カラー四切木製パネル</td> <td>外部（ ）</td> <td>※2</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="radio"/> カラー半切パネル</td> <td>外部（ 2 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内部（ 2 ）</td> <td>・ 3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="radio"/> 電子データ</td> <td>外部（ 8 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> <td>※ 500万画素以上</td> <td rowspan="2">※ 280万画素以上</td> </tr> <tr> <td>内部（ 10 ）</td> <td>・ 3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形最高画像とし、CD-Rにて提出する。</p> <p>撮影業者 ・ 建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者 <input type="radio"/> 任意</p> <p>夜景撮影 ・ 行う <input type="radio"/> 行わない 空中撮影 ・ 行う <input type="radio"/> 行わない</p> <p>※ 原板は撮影業者の保管とし、追加プリントの連絡先を成果品に記入すること。 但し成果品提出後の施設実績紹介、実績報告及びPR等での著作権は発生しないものとする。</p> <p>設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>※ 監督員との現地協議による。</p> 		分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ (mm)	<input type="radio"/> カラー	※ キャビネ版	外部（ 8 ）	※2	※100×125以上		内部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2		外観正面（ ）	・	・ カラー四切木製パネル	外部（ ）	※2	・		<input type="radio"/> カラー半切パネル	外部（ 2 ）	<input type="radio"/> 2			内部（ 2 ）	・ 3			<input type="radio"/> 電子データ	外部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2	※ 500万画素以上	※ 280万画素以上	内部（ 10 ）	・ 3				
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ (mm)																																										
<input type="radio"/> カラー	※ キャビネ版	外部（ 8 ）	※2	※100×125以上																																									
		内部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2																																										
		外観正面（ ）	・																																										
・ カラー四切木製パネル	外部（ ）	※2	・																																										
<input type="radio"/> カラー半切パネル	外部（ 2 ）	<input type="radio"/> 2																																											
	内部（ 2 ）	・ 3																																											
<input type="radio"/> 電子データ	外部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2	※ 500万画素以上	※ 280万画素以上																																									
	内部（ 10 ）	・ 3																																											
5. 腰掛待合移築		⑩ 現場説明書による		<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 完成写真 <p>工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>原板の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"><input type="radio"/> カラー</td> <td>※ キャビネ版</td> <td>外部（ 8 ）</td> <td>※2</td> <td rowspan="3">※100×125以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内部（ 8 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外観正面（ ）</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ カラー四切木製パネル</td> <td>外部（ ）</td> <td>※2</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="radio"/> カラー半切パネル</td> <td>外部（ 2 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内部（ 2 ）</td> <td>・ 3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="radio"/> 電子データ</td> <td>外部（ 8 ）</td> <td><input type="radio"/> 2</td> <td>※ 500万画素以上</td> <td rowspan="2">※ 280万画素以上</td> </tr> <tr> <td>内部（ 10 ）</td> <td>・ 3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形最高画像とし、CD-Rにて提出する。</p> <p>撮影業者 ・ 建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者 <input type="radio"/> 任意</p> <p>夜景撮影 ・ 行う <input type="radio"/> 行わない 空中撮影 ・ 行う <input type="radio"/> 行わない</p> <p>※ 原板は撮影業者の保管とし、追加プリントの連絡先を成果品に記入すること。 但し成果品提出後の施設実績紹介、実績報告及びPR等での著作権は発生しないものとする。</p> <p>設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>※ 監督員との現地協議による。</p> 		分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ (mm)	<input type="radio"/> カラー	※ キャビネ版	外部（ 8 ）	※2	※100×125以上		内部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2		外観正面（ ）	・	・ カラー四切木製パネル	外部（ ）	※2	・		<input type="radio"/> カラー半切パネル	外部（ 2 ）	<input type="radio"/> 2			内部（ 2 ）	・ 3			<input type="radio"/> 電子データ	外部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2	※ 500万画素以上	※ 280万画素以上	内部（ 10 ）	・ 3				
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ (mm)																																										
<input type="radio"/> カラー	※ キャビネ版	外部（ 8 ）	※2	※100×125以上																																									
		内部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2																																										
		外観正面（ ）	・																																										
・ カラー四切木製パネル	外部（ ）	※2	・																																										
<input type="radio"/> カラー半切パネル	外部（ 2 ）	<input type="radio"/> 2																																											
	内部（ 2 ）	・ 3																																											
<input type="radio"/> 電子データ	外部（ 8 ）	<input type="radio"/> 2	※ 500万画素以上	※ 280万画素以上																																									
	内部（ 10 ）	・ 3																																											

3 土・地業・基礎工事

6 床下防湿層	<p>施工範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物内の土間コンクリート下（土蔵沈下修正礎石廻りを除く） ・ <p>防湿工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15以上 ・ <p>防湿層の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示（ ） ・ 																						
7 鉄筋	<p>鉄筋の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ SD295A</td> <td>※ D16以下</td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td>※ D19以上</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄筋の継手</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び名 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手</td> <td>D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>※ 重ね継手</td> <td>D19未満</td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋（ ）</td> <td>※ 重ね継手</td> <td>D19未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木造構造関係共通事項（配筋標準図）4.1(a)による ・ 図示（ ） ・ <p>継手位置図</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木造構造関係共通事項（配筋標準図）6.1、8.3、8.4による ・ 図示（ ） ・ <p>鉄筋の定着方法及び長さ</p> <p>鉄筋の定着方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木造構造関係共通事項（配筋標準図）4.1(b)による ・ 図示（ ） ・ <p>鉄筋の定着の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木造構造関係共通事項（配筋標準図）4.1(b)による ・ 図示（ ） ・ <p>鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）</p> <p>最小かぶり厚さ（目地から算出を行う）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木造構造関係共通事項（配筋標準図）表5.1による ・ 図示（ ） ・ <p>柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無 ・ 有 適用箇所（ ） ・ 最小かぶり厚さ <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄筋径の1.5倍以上 ・ <p>軽量コンクリートで土に接する部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無 ・ 有 適用箇所（ ） <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造構造関係共通事項（配筋標準図）表4.11に加える厚さ（ ）mm ・ <p>耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無 ・ 有 適用箇所（ ） <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造構造関係共通事項（配筋標準図）表4.11に加える厚さ（ ）mm ・ <p>鉄筋相互のあき（特殊な鉄筋を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木造構造関係共通事項（配筋標準図）5.1(d)による ・ 図示（ ） ・ <p>各部配筋</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木造構造関係共通事項（配筋標準図）による ・ 図示（ ） ・ 	種類の記号	呼び名 (mm)	・ SD295A	※ D16以下	・ SD345	※ D19以上	・		・		部 位	継手方法	呼び名 (mm)	柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手	D19以上	耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手	D19未満	その他の鉄筋（ ）	※ 重ね継手	D19未満
種類の記号	呼び名 (mm)																						
・ SD295A	※ D16以下																						
・ SD345	※ D19以上																						
・																							
・																							
部 位	継手方法	呼び名 (mm)																					
柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手	D19以上																					
耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手	D19未満																					
その他の鉄筋（ ）	※ 重ね継手	D19未満																					
8 鉄筋の継手																							
9 鉄筋の定着の方法及び長さ																							
10 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）																							
11 各部配筋																							

12 圧接完了後の試験	
13 コンクリートの使用骨材による種類及び強度	
14 レディーミクストコンクリートの種類	
15 セメント	
16 骨材	
17 混和材料	
18 気乾単位容積質量	
19 無筋コンクリート	
20 コンクリートの仕上り	
21 型枠	

<p>外観試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 行う（全数） <p>抜取試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 超音波探傷事件 試験の箇所数等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書5.4.9、5.4.10による ・ ・ 引張試験 試験片の採取数は、1ロットに対して（※3本）とする 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする 試験片を採取した箇所の処置：ガス圧接 <p>・ 普通コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F_c (N/mm²)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○18</td> <td>・ 15</td> <td>○20</td> </tr> <tr> <td>・ 21</td> <td>・ 15</td> <td>・ 20</td> </tr> <tr> <td>○24</td> <td>・ 15</td> <td>○20</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 軽量コンクリートの設計基準強度等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F_c (N/mm²)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ I類（JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」に適合） ・ II類 <p>セメントの種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高炉セメントB種 G</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フライアッシュセメントB種 G</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ A ・ B <p>種類 ※ 混和剤 ・ 混和材</p> <p>混和材量の使用量 ※ 標準仕様書6.3.1(d)による</p> <p>普通コンクリート</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 2.3t/m³程度 ・ <p>軽量コンクリート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>設計基準強度等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>粗骨材の最大寸法(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 18</td> <td>※ 15又は18</td> <td>※ 25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 軽量コンクリート</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 20</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>部材の位置及び断面寸法の許容差</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 標準仕様書表6.2.3による <p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>基礎</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>せき板の材料及び厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○合板（※12mm） ・ <p>断熱材の兼用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行わない ・ 行う <p>MCR工法用シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用いる <ul style="list-style-type: none"> 打増し厚さ ※ 20mm 打増し範囲 ・ 図示（ ） ・ ○用いない <p>スリーブの材種</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 標準仕様書6.8.3(i)(2)(i)から(w)による 	設計基準強度F _c (N/mm ²)	スランブ	適用箇所	○18	・ 15	○20	・ 21	・ 15	・ 20	○24	・ 15	○20	設計基準強度F _c (N/mm ²)	スランブ	適用箇所	・	・		・	・		種 類	適用箇所	※ 普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種		・ 高炉セメントB種 G		・ フライアッシュセメントB種 G		種 類	設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	粗骨材の最大寸法(mm)	適用箇所	※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15又は18	※ 25		・ 軽量コンクリート	・	・	・ 20		種 別	適用箇所	・ A種		○B種	基礎	・ C種	
設計基準強度F _c (N/mm ²)	スランブ	適用箇所																																																		
○18	・ 15	○20																																																		
・ 21	・ 15	・ 20																																																		
○24	・ 15	○20																																																		
設計基準強度F _c (N/mm ²)	スランブ	適用箇所																																																		
・	・																																																			
・	・																																																			
種 類	適用箇所																																																			
※ 普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種																																																				
・ 高炉セメントB種 G																																																				
・ フライアッシュセメントB種 G																																																				
種 類	設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	粗骨材の最大寸法(mm)	適用箇所																																																
※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15又は18	※ 25																																																	
・ 軽量コンクリート	・	・	・ 20																																																	
種 別	適用箇所																																																			
・ A種																																																				
○B種	基礎																																																			
・ C種																																																				

4 木造工事

1 木材の品質	<ol style="list-style-type: none"> 構造材に用いる製材の品質は、構造用製材のJASに適合したもまたは製材のJASで定める1等以上とする。 見掛かりの造作用柱、板用製材の品質は、製材のJASで定める上小節以上のものとし、心持材の場合は背割りを行ったものとする。 仕口を固める楔、栓は堅木とする。又覆い材は骨組材と同材以上または堅木とする。 構造用に用いる集成材は、構造用集成材のJASに適合若しくは化粧り集成材のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。 古材若しくはこれに類する部材については、上記品質に規定しない。但し、監督員の承認を受けて使用する事。 																																																			
2 接合金物	<ul style="list-style-type: none"> ○Zマーク金物（軸組構法用） ・ Cマーク金物（枠組構法用） ・ Sマーク金物（同等品認定） <p>防蟻処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 行う（○高耐久樹脂種 ・ 加圧注入木材 ・ 表面処理用木材保存剤） <p>防蟻処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行う（○高耐久樹脂種 ・ 加圧注入木材 ・ 表面処理用木材保存剤） <p>防蟻・防蟻処理剤の種類及び品質</p> <p>防蟻・防蟻剤は監督職員の承諾するものとする。</p>																																																			
3 防蟻・防蟻処理																																																				
4 部位別材種	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>材 種</th> <th>等 級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土台</td> <td>※ ひのき、ひば、べいひば、くり、けやき ・ その他（ ）</td> <td>※ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>火打土台</td> <td>・ ひのき、ひば、べいひば、からまつ、べいまつ ・ 火打金物 ・ その他（ ）</td> <td>※ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>大引</td> <td>・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）</td> <td>※ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>床束</td> <td>※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ 鋼製束 ・ 合成樹脂製束 ・ その他（ ）</td> <td>・ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>根太</td> <td>・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）</td> <td>・ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>根太掛け</td> <td>・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）</td> <td>※ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>柱</td> <td>※ ひのき、すぎ、べいつが ・ 構造用集成材 ○その他（既存材）</td> <td>・ 上小節 ○小節 ・</td> </tr> <tr> <td>間柱</td> <td>※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）</td> <td>※ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>床梁・胴差・桁</td> <td>※ ひのき、べいまつ、からまつ、べいつが ・ 構造用集成材 ○その他（既存材）</td> <td>・ 小節 ○特1等 ・</td> </tr> <tr> <td>火打梁</td> <td>・ ひのき、ひば、べいひば、からまつ、べいまつ ○火打金物（土蔵1階桁面） ○その他（野地水平からの水平剛性を伝える為、</td> <td>※ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>筋かい</td> <td>・ ひのき、すぎ、べいつが ・ その他（ ）</td> <td>※ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>小壁梁</td> <td>※ ひのき、あかまつ、くろまつ、べいまつ ○その他（既存材）</td> <td>※ 小節 ・ 特1等</td> </tr> <tr> <td>小壁束</td> <td>※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ○その他（既存材）</td> <td>※ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>棟木・母屋</td> <td>※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ○その他（既存材）</td> <td>※ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>桁行筋かい・振止め</td> <td>・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）</td> <td>※ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>垂木</td> <td>・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）</td> <td>※ 特1等 ・ 1等 ・</td> </tr> </tbody> </table>	部 位	材 種	等 級	土台	※ ひのき、ひば、べいひば、くり、けやき ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・	火打土台	・ ひのき、ひば、べいひば、からまつ、べいまつ ・ 火打金物 ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・	大引	・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・	床束	※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ 鋼製束 ・ 合成樹脂製束 ・ その他（ ）	・ 特1等 ・ 1等 ・	根太	・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	・ 特1等 ・ 1等 ・	根太掛け	・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・	柱	※ ひのき、すぎ、べいつが ・ 構造用集成材 ○その他（既存材）	・ 上小節 ○小節 ・	間柱	※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・	床梁・胴差・桁	※ ひのき、べいまつ、からまつ、べいつが ・ 構造用集成材 ○その他（既存材）	・ 小節 ○特1等 ・	火打梁	・ ひのき、ひば、べいひば、からまつ、べいまつ ○火打金物（土蔵1階桁面） ○その他（野地水平からの水平剛性を伝える為、	※ 特1等 ・ 1等 ・	筋かい	・ ひのき、すぎ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・	小壁梁	※ ひのき、あかまつ、くろまつ、べいまつ ○その他（既存材）	※ 小節 ・ 特1等	小壁束	※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ○その他（既存材）	※ 特1等 ・ 1等 ・	棟木・母屋	※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ○その他（既存材）	※ 特1等 ・ 1等 ・	桁行筋かい・振止め	・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・	垂木	・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・
部 位	材 種	等 級																																																		
土台	※ ひのき、ひば、べいひば、くり、けやき ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
火打土台	・ ひのき、ひば、べいひば、からまつ、べいまつ ・ 火打金物 ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
大引	・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
床束	※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ 鋼製束 ・ 合成樹脂製束 ・ その他（ ）	・ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
根太	・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	・ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
根太掛け	・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
柱	※ ひのき、すぎ、べいつが ・ 構造用集成材 ○その他（既存材）	・ 上小節 ○小節 ・																																																		
間柱	※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
床梁・胴差・桁	※ ひのき、べいまつ、からまつ、べいつが ・ 構造用集成材 ○その他（既存材）	・ 小節 ○特1等 ・																																																		
火打梁	・ ひのき、ひば、べいひば、からまつ、べいまつ ○火打金物（土蔵1階桁面） ○その他（野地水平からの水平剛性を伝える為、	※ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
筋かい	・ ひのき、すぎ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
小壁梁	※ ひのき、あかまつ、くろまつ、べいまつ ○その他（既存材）	※ 小節 ・ 特1等																																																		
小壁束	※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ○その他（既存材）	※ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
棟木・母屋	※ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ○その他（既存材）	※ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
桁行筋かい・振止め	・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・																																																		
垂木	・ ひのき、すぎ、べいまつ、からまつ、べいつが ・ その他（ ）	※ 特1等 ・ 1等 ・																																																		

5 軸組構法（壁構造系）工事

1 材料等	<p>本工事で使用する材料については下記による他、「4.木造工事」部位別材種による本工事で使用する接合金物については下記による他、「4.木造工事」接合金物による</p> <p>※ 図示（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造標仕5.2.3(1)による構造用合板 厚さ（ ）mm ・ 木造標仕5.2.3(2)によるパーティクルボード 厚さ（ ）mm ・ 木造標仕5.2.3(3)による構造用パネル 厚さ（ ）mm <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大壁造の面材耐力壁 ○真壁造の面材耐力壁 ・ <p>材料・工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示（ A-42 ）
2 床下張材	
3 耐力壁	
6 軸組構法（軸構造系）工事	<ol style="list-style-type: none"> 材料等 接合部の工法 床下張材 <p>本工事で使用する材料については下記による他、「4.木造工事」部位別材種による本工事で使用する接合金物については下記による他、「4.木造工事」接合金物による</p> <p>※ 図示（ ）</p> <p>※ 図示（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造標仕5.2.3(1)による構造用合板 厚さ（ ）mm ・ 木造標仕5.2.3(2)によるパーティクルボード 厚さ（ ）mm ・ 木造標仕5.2.3(3)による構造用パネル 厚さ（ ）mm
7 枠組構法工事	<ol style="list-style-type: none"> 材料等 土台 床枠組 壁枠組 小屋組及び屋根 <p>本工事で使用する材料については下記による他、「4.木造工事」部位別材種による本工事で使用する接合金物については下記による他、「4.木造工事」接合金物による</p> <p>断面寸法 ※ 図示（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕口及び継手 ※ 図示（ ） <p>※ 図示（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>※ 図示（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>※ 図示（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
8 丸太組構法工事	<p>本工事で使用する材料については下記による他、「4.木造工事」部位別材種による本工事で使用する接合金物については下記による他、「4.木造工事」接合金物による</p> <p>丸太組壁用木材</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示（ ） ・ <p>丸太組壁以外に用いる木材</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示（ ） ・ <p>構造用面材</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示（ ） ・ <p>接合具・接合金物等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示（ ） ・ <p>※ 図示（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>※ 図示（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>※ 図示（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造標仕5.2.3(1)による構造用合板 厚さ（ ）mm ・ 木造標仕5.2.3(2)によるパーティクルボード 厚さ（ ）mm ・ 木造標仕5.2.3(3)による構造用パネル 厚さ（ ）mm

9

木工事

① 適用範囲

② 木材

3 集材等 G

④ 合板等

内装及び外装の木下地、木造作及び木仕上げ工事に適用する。

表面仕上げの程度 ・ A種 ※ B種 ・ C種

現場搬入時の木材の含水率 ※ A種 ・ B種

代用樹種を使用しない箇所 ()

※既存材は適応除外とする。

集材材及び単板積層材のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種

・ 造作用集材材

Table with 4 columns: 施工箇所, 樹種名, 見付け材面の品質, 寸法 (mm)

・ 化粧ばり造作用集材材

Table with 4 columns: 施工箇所, 樹種名 (心材, 化粧), 見付け材面の品質, 寸法 (mm)

・ 単板積層材

Table with 4 columns: 施工箇所, 表面の品質, 防虫処理, 寸法 (mm)

合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種

・ 普通合板

Table with 6 columns: 施工箇所, 厚さ (mm), 表板の樹種名, 接着の程度, 板面の品質, 防虫処理, その他の処理

○ 構造用合板

Table with 6 columns: 施工箇所, 厚さ (mm), 表板の樹種名, 接着の程度, 等級, 板面の品質, 防虫処理

・ 天然木化粧合板

Table with 6 columns: 施工箇所, 厚さ (mm), 化粧板の樹種名, 接着の程度, 防虫処理, その他の処理

・ 特殊加工化粧合板

Table with 6 columns: 施工箇所, 厚さ (mm), 化粧加工の方法, 表面性能, 加工面, 接着の程度, 防虫処理, その他の処理

10

防水工事

1 FRP系塗膜防水

② シーリング

3 透湿防水シート

4 防水テープ

5 改質アスファルトフェルト

6 ケイ酸質系塗布防水

7 合成高分子系ルーフィングシート防水

8 塗膜防水

9 その他

Table with 3 columns: 施工箇所, 厚さ (mm), 下地の種類

Table with 2 columns: シーリング材の種類, 施工箇所

接着性試験 ※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (部位:)

材料 ※ JIS A 6111に規定する透湿防水シートB

防水テープの幅 ※ 50mm幅以上

材料の品質 ※ 木造標仕10.4.2による

Table with 4 columns: 種別, 施工箇所, 種別, 施工箇所

Table with 5 columns: 種別, 厚さ (mm), 施工箇所, 仕上塗料塗り, 使用分類

Table with 4 columns: 種別, 施工箇所, 備考

※ 図示による他、標仕10章「防水工事」による

12

タイル工事

1 タイル

2 張付け用材料

3 あと張り工法

4 型枠先付け工法

Table with 8 columns: 施工箇所, 形状寸法 (mm), 釉薬 (施, 無), 吸水率 (I, II, III), 耐凍害性 (有, 無), 役物 (有, 無), 色 (標準, 特注), 再生材の有無 (適用, G)

標準的な曲がり (小口、標準、二丁、びょうぶ) の役物は一体成形とする

Table with 5 columns: 保水率 (%), 単位容積質量 (kg/Q), 接着強さ (N/mm²) (標準時, 温冷繰返し後), 長さ変化率 (%), 曲げ強さ (N/mm²)

有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種

壁タイル張りの工法
内装タイル ※ 壁タイル接着剤張り ・ 改良積上げ張り
外装タイル ※ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り
躯体表面の処理 ・ 行わない ※ 行う (施工範囲 ※ 図示)
躯体表面の処理方法 MOR工法又は目荒し工法 (6章コンクリート工事9項による)

Table with 3 columns: 種別, 適用タイル, タイル型枠先付け面のせき板

11

石工事

① 石材

2 壁の石張り工法

3 床及び階段の石張り

Table with 5 columns: 施工箇所, 種類, 産地・名称, 厚さ (mm), 表面仕上げの種類

・ テラゾ
種石の種類 ※ 大理石
表面仕上げ ※ 本磨き
形状・寸法 ※ 図示

外壁石張り
工法
・ 外壁湿式工法 (※ 流し筋工法)
・ 乾式工法
石表面処理 ・ 行う (・ 小口共)
裏打ち処理 ・ 行う
ドレンパイプ ※ ステンレスSUS304

内壁石張り
工法
・ 内壁空積工法 (※ あと施工アンカー横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法)
・ 乾式工法
石表面処理 ・ 行う (・ 小口共)
裏打ち処理 ・ 行う

床石張りの表面処理 ・ 行う
階段石張りの表面処理 ・ 行う
屋内のワックス掛け ・ 行う

13

屋根及びとこ工事

① 金属板葺

2 折板葺

3 粘土瓦葺

4 スレート葺

5 アスファルトシングル葺

⑥ とい

Table with 3 columns: 屋根葺形式, 長尺金属板の種類, 板厚 (mm)

下葺材料 ※ アスファルトルーフィング940
・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 (・ 一般タイプ ・ 複層基材タイプ ・ 粘着層付タイプ)

雪止め ・ 設置する (図示)

Table with 5 columns: 形式, 形状 (mm), 材料 (規格等), 軒先面戸板, 耐火性能

断熱材 ・ あり (種別: 厚さ (mm): 防火性能: 時間)

雪止め ・ 設置する (図示)

Table with 6 columns: 施工箇所, 種類, 大きさ, 難燃処理, 役物瓦の種類

雪止め瓦 ・ 適用する ・ 適用しない
瓦葺木 材質 ※ 杉又はひのき
寸法 ※ 幅21×高さ15 (mm)
棟補強用心材 材質 ※ 杉又はひのき
寸法 ※ 幅40×高さ30 (mm)
瓦葺木の留付け工法 ※ 図示
棟の工法 ・ 7寸丸伏せ棟 ・ のし一休棟 ・ のし積み棟

Table with 5 columns: 施工箇所, 種類, 寸法及び形状, 役物, 色彩

雪止め ・ 設置する (図示)

Table with 5 columns: 施工範囲, 品質, 形状, 色調, 寸法

雪止め ・ 設置する (図示)

といの材種 ※ 金属板 ()
※ 銅板
・ 硬質塩化ビニル管 (・ VP ・ RF-VP) G
・ アルミ押出形材

14 金属工事	1 ステンレスの表面仕上げ	種 類	施工箇所		
		※ HL程度			
		・ No. 2B程度			
		・ 鏡面			
		・			
		・			
2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	種 別	施工箇所			
	・ B-1種 (無着色)				
	・ B-2種 (・ プラカ系 ・ プラカ ・ スフナー)				
	・				
	・				
3 鉄鋼の亜鉛めっき	表面処理方法	種 別	施工箇所		
		・ A種			
	溶融亜鉛めっき	・ B種			
		・ C種			
		・ D種			
	電気亜鉛めっき	・ E種			
		・ F種			
4 金属成形板張り	形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚さ(mm)
	・ スパンドレル形	・ 押出し ・ ロール	※ アルミニウム製 ・		
	・ パネル形	※ プレス ・			
	表面処理	・ B-1種	・ B-2種 ()		
	伸縮調整継手	※設けない	・ 設ける (施工箇所は図示)		
5 アルミニウム製笠木	種 類	最小呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	
	・	1.6	※ A-1又は B-1種	※固定方法及び間隔は図示による。	
	・		・ B-2種		
	・		()		
	※ コーナー部、突当り部等の役物は本体製造所の仕様による。				
6 手すり及びタラップ	種 類	材料の種類	表面処理		
	手すり	※ ステンス(SUS304) ・ 鋼	※ HL程度 ・ 鏡面程度 垂鉛めっき 外部 ※ C種 内部 ※ E種		
	タラップ	※ ステンス(SUS304) ・ 鋼	※ 研磨なし 垂鉛めっき 内外部 ※ C種		

15 左官工事	1 モルタル塗り	吸水調整材 性能 全面形分 (%) 吸水量 (g) 接着強度 (N/mm ²) 界面破断率 (%) 表示値±1.0以内 30分間で1以下 0.98以上 50以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 防水剤 (防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする。 (JIS A 1404による試験) 混合割合 凝結時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比 透水性 セメント重量 JIS R 5201の試験0 70%以上 95%以下 80%以下 の5%以下 において (294.0 kPaの水圧を1時間かける) 始発 1時間以上 終結 10時間以内 安定性、膨張性のひび割れ及びそりがないこと。(JIS R 5201の試験9) 既製目地材 ※ 適用しない ・ 適用する 床目地 ・ 設ける (工法 ※ 押し目地) 材料 ○ 本漆喰 ・ 既調合漆喰 ・ 炭入り漆喰 下地 ・ 木ずり下地 ○ 木舞土壁下地 ○ ライム石下地 ○ 石膏ボード下地 調合及び塗厚 ※ 木造仕様表15.6.1.2による ・ 図示 () 仕上塗材の種類、仕上げの形状等 種 類 呼び名 仕上げの形状等 薄付け仕上塗材 ・ 外装薄塗材Si ・ 可とう形外装薄塗材Si ・ 外装薄塗材E ・ 可とう形外装薄塗材E ・ 防水形外装薄塗材E ・ 外装薄塗材S ・ 内装薄塗材C ・ 内装薄塗材L ・ 内装薄塗材Si ・ 内装薄塗材E ・ 内装薄塗材W ・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波形 ・ 凹凸状 ・ 砂壁状 ・ ・ ・ ・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく 複層仕上塗材 ・ 複層塗材CE ・ 複層塗材Si ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 可とう形複層塗材CE ・ 複層塗材RS ・ 防水形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE ・ 防水形複層塗材RS ・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 耐候性 ※ 耐候形3種 上塗材 溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※ アクリル系 外観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック 防水形の増塗材 ※ 行う 軽量骨材 ・ 吹付用軽量塗材 砂壁状 仕上塗材 ・ こて塗用軽量塗材 平たん状 建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた仕上塗材のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種 下表以外は標仕様6.2.5及び標仕15.3.2による 適用部位 平たんさ (mm) ・ 壁の幅木回り 3mにつき3mm以下 ・ 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り 3mにつき7mm以下 直均し仕上、フリーアクセスフロア (置敷式) ・ カーペット張り、防水下地 3mにつき10mm以下 セルフレベリング材塗り ・ タイル張り、モルタル塗り 1mにつき10mm以下 二重床 ・ セっこう系 (施工箇所及び厚さ ※ 仕上表による ・ 図示:) ・ セメント系 (施工箇所及び厚さ ※ 仕上表による ・ 図示:)
	2 しっくい塗り	
	3 仕上塗材仕上げ	
	4 床コンクリート直均し仕上げ	
	5 セルフレベリング材塗り	

16 建具工事	1 見本の製作等	特殊な建具の仮組 (建具符号:)
	2 防犯建物部品	適用箇所 (建具符号:)
	3 アルミニウム製建具	性能等級等 外部に面する建具 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み (mm) 施工箇所 ・ A種 S-2 A-3 W-3 ※ 70 ・ B種 S-3 A-3 W-3 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () 表面処理 外部に面する建具 ※ B-1種 ・ B-2種 (・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) 屋内建具 ※ C-1種 ・ C-2種 (・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) 網戸 防虫網の材質 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製 (SUS316) 形式 ※ 外部可動式 ・ 固定式 性能等級等 外部に面する建具 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み (mm) 施工箇所 ・ A種 S-2 A-4 W-3 ※ 70 ・ B種 S-3 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () 網戸 防虫網の材質 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製 (SUS316) 形式 ※ 外部可動式 ・ 固定式 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-2 ・ S-3 ・ S-4 簡易気密型ドアセットの適用は建具表による 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-2 ・ S-3 ・ S-4 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (補強あり) 建具材の加工、組立時の含水率 ※ B種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ フラッシュ戸 表面材 ※ 建具表による 見込み寸法 ※ 建具表による ○ かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※ 36mm ○ 建具表による ○ ふすま 上張り ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 (押入等の裏側は雲花紙程度) 縁仕上 ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 建具表による ・ 戸ふすま 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ○ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による 鍵 マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない その他の鍵 ※ 各室3本1組 鍵箱 市販品 形式 ・ 30組用 ・ 60組用 ・ 120組用
	4 樹脂製建具	
	5 鋼製建具	
	6 鋼製軽量建具	
7 ステンレス製建具		
8 木製建具		
9 建具用金物		

10 自動ドア開閉装置	材料 ※ SUS304、アルミニウム製等防錆性能を有するもの 性能 ※ 製造所標準仕様による 性能 ※ 木造仕様表16.10.1による ・ 製造所標準仕様による シャッターの種類 性 能 ・ 一般重量シャッター 耐風圧性能 () N/m ² ・ 外壁用防火シャッター 耐風圧性能 () N/m ² ・ 屋内用防火シャッター ・ 屋内用防煙シャッター 開閉機能 ※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 危害防止機構 ※ 障害物感知装置 (自動閉鎖型) 一般重量シャッターのシャッターケース ※ 設ける ・ 設けない 開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) スラット 材質 ※ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) 又はJIS G 3318 (塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯) 鋼板 形状 ※ インターロックング形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール等 ※ 鋼板製 ・ ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm) 耐風圧性能 () N/m ² セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質 ※ スチール材 ※ バランス式 ・ スチール形 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ アルミ材 ・ フェン式 ・ ロケット形 ・ ステンレス鋼板 (SUS304) ・ アルミ材 ・ 電動式 ・ ハリフ形 ・ アルミ材 耐風圧性能 () N/m ² ・ 板ガラスの種類、厚さ等は建具表による ・ ガラス留め材 建具の種類 材 種 アルミニウム製 ※ シーリング材 ○ ガスケット 鋼製及び鋼製軽量 ※ シーリング材 ステンレス製 ※ シーリング材 防火戸のガラス留め材は、防火戸が建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。 板ガラスをはめ込む溝の大きさ 木造仕様16.14.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は (社) 日本建築学会JASS 17 ガラス工事「納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。 ・ ガラスブロック 表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色 調 防火認定 ・ 正方形 ・ ・ ※ クリア ・ 熱線反射 ※ なし ・ 長方形 ・ ・ ・ 乳白色 ・ あり ・ カラー ()	
	11 自閉式上吊り引戸装置	
	12 重量シャッター	
	13 軽量シャッター	
	14 オーバーヘッドドア	
	15 ガラス	

旧島山一清邸新座敷移築復元工事	特記仕様書 4
-----------------	---------

17 塗装工事

① 材料

室内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 第三種
防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。(施工箇所:)

② 素地ごしらえ

Table with columns: 下地面等, 種別, 木部, 鉄鋼面, 垂鉛めっき鋼面, モルタル面及びプaster面, コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面, せっこうボード面及び, その他ボード面

③ 錆止め塗料塗り

Table with columns: 下地面等, 工程の種類, 塗料の種類, 鉄鋼面, 垂鉛めっき鋼面

④ 塗装

Table with columns: 塗装, 種別, 塗料の種類, 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP), クリヤラッカー塗り(OL), アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD), 対候性塗料塗り(DP), つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G), 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP), ウレタン樹脂ワニス塗り(UC), ラッカーエナメル塗り(LE), オイルステイン塗り(OS), 木材保護塗料塗り(WP)

屋上面、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装 Gとする。

⑤ 床用塗料塗り

材質 ウレタン樹脂系塗料 (※ 標準色 ・ ※艶消し)
仕上種別 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ
塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m²以上とする

⑥ 防塵用塗料塗り

材質 水性アクリル系樹脂塗料 (※ 標準色 ・)
仕上種別 コーティング(ローラーばけ塗り)
塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m²以上とする。

18 内装工事

① 接着剤

(内装工事全般)

② ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 第三種
※ 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ビニル床シート及びビニル床タイルの特殊機能
帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷~10¹⁰Ω程度
・
耐動荷重 JIS A 1454による、へこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、摩耗性試験、層間はく離強度試験(発泡層のあるビニル床シートのみ)及びキャスター性試験等の試験後、異常がないこと

Table with columns: 種類, 記号, 施工箇所, 色柄, 厚さ(mm), 特殊機能, 発泡層のないもの, 発泡層のあるもの

工法 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所:)

Table with columns: 種類, 記号, 施工箇所, 色柄, 寸法(mm), 厚さ(mm), ビニル床タイル, ゴム床タイル

特殊機能 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重

・ ビニル幅木
材質 ※ 軟質 ・ 硬質
高さ (mm) ※ 60 ・ 75 ・ 100
厚さ (mm) ※ 2.0

・ ゴム床タイル
色柄 ()
厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0
寸法 ()

Table with columns: 種類, バイル形状, 織り方, 色柄等, 帯電性, A種, B種, C種

下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm

Table with columns: バイル形状, バイル長さ (mm), 工法, 帯電性, カット、ループ併用

下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm

・ ニードルパンチカーベット
厚さ (mm) ・ 7.0
帯電性 ※ 人体帯電圧3kV以下

③ カーベット敷き

④ 合成樹脂塗床

Table with columns: バイル形状, 種類, 寸法 (mm), 総厚さ (mm), 帯電性, ループバイル, カットバイル, カット、ループ併用

タイルカーベットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 模様流し
階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き

見切り、押え金物
・ 適用する (材質、形状等 ※ 図示)

Table with columns: 種別, 仕上げの種類, 弾性ウレタン塗床材, エポキシ樹脂塗床材

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外 第三種

Table with columns: 種類, 樹種, 厚さ (mm), 大きさ (mm), 工法, フローリングボード, フローリングブロック, モザイクパーケット

単層フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 第三種

Table with columns: 種類, 樹種, 種別又は大きさ (mm), 防湿処理又は緩衝材, 工法, 複合1種, 複合2種, 複合3種

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 第三種

仕上げ塗装 ・ 塗装品 ()
・ 無塗装品 (・ 塗装する 施工箇所:)
種類 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り
・ オイルステインのうえワックス塗り
・ 生地そのままワックス塗り

⑥ 畳敷き

Table with columns: 下地の種類, 畳の種類, 標仕表12.5.1による床組, ポリスチレンフォーム床下地

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

⑦ ポリスチレンフォーム床下地材

・ A種 (ノンフロンのもの) G -
畳下地 厚さ (mm) ※ 40 ・ 65 ・ 80 (不燃)
フローリング類下地 厚さ (mm) ※ 80 ・ 95 (不燃)

⑧ せっこうボード、その他ボード及び合板張り

Table with columns: 種類, 厚さ (mm)、規格等, せっこうボード, シーリングせっこうボード, 強化せっこうボード, せっこうラスボード, 化粧せっこうボード (木目), 不燃積層せっこうボード, けい酸カルシウム板, ロックウール化粧吸音板, ロックウール吸音ボード1号, グラスウール吸音ボード2号32K, 硬質毛セメント板, 普通毛セメント板, 硬質木片セメント板, 普通木片セメント板, 単板張り, パーティクルボード, 化粧パーティクルボード, ミディアムデンシティファイバーボード, ハードボード (素地), ハードボード (化粧), インシュレーションボード, メラミン樹脂化粧板

パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量

※ 規制対象外 第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材

※ 適用する ・ 適用しない

天井及び壁に使用する合板は、12章木工事5床張り用合板及びその他の合板による。

合板類の張付け ・ A種 ※ B種

⑨ 壁紙張り

Table with columns: 施工箇所, 壁紙の種類, 紙, 繊維 (織物), グラスファイバ (繊維), その他 (化学繊維), 無機質, 防火性能

壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 第三種

素地ごしらえ

モルタル面、プaster面 ・ A種 ※ B種 (施工箇所:)

コンクリート面 ・ A種 ※ B種 (施工箇所:)

せっこうボード面 ※ A種 ・ B種 (施工箇所:)

1 断熱材 G

断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること。
 ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・ 第三種断熱材の打込み及び張り付け

発泡剤の種類	種類	厚さ(mm)	施工箇所
ⓧグラスウール	ⓧ4K	ⓧ50 ⓧ100	※ 壁
ⓧ押出法 ポリスチレンフォーム保温材	A種	・ 保温板	・ 25 ⓧ30 ※ 土間
		・ 保温板	ⓧ50 ⓧ60 ※ 床、屋根
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	A種	・	・
・ フェノールフォーム保温材	A種	・	・
・ 現場発泡断熱材	A種	※ A種1	・ 天井
		・ B種1	・ 壁
		・	・ 断熱材補修部

2 サイディング

・ 窯業系サイディング (JIS A 5422 (窯業系サイディング) による)
 補助材 (水切・目地ジョイナー等)
 ※ 製造所の指定するもの ・
 通気胴縁
 ※ 杉 (×) 防腐処理 ・ 行う ・ 行わない ・
 取付構法 ※ 通気構法 ・ 直張り構法 ・
 取付工法 ・ 金具留め ・ くぎ留め ・
 張り方 ・ 縦張り ・ 横張り

・ 複合金属サイディング (JIS A 6711 (複合金属サイディング) による)
 補助材 (水切・目地ジョイナー等)
 ※ 製造所の指定するもの ・
 通気胴縁
 ※ 杉 (×) 防腐処理 ・ 行う ・ 行わない ・
 取付構法 ※ 通気構法 ・ 直張り構法 ・
 張り方 ・ 縦張り ・ 横張り

3 フリーアクセスフロア

施工箇所	構法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能	表面仕上材
図示	・ パネル構法 ・ 溝構法	・	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3,000N ・ 5,000N	・ ビニル床タイル ・ タイルカーペット

耐震性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
 表面仕上材の品質、性能は、標仕19章による。
 構成材の材質 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製 ・ 製造所の仕様による
 スロープ及びボーダー ※ 製造所の仕様による ・ 図示
 配線用取出しパネル
 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 20～30% ・
 配線取出し開口 ※ パネル1枚につき40×80 (mm) 程度の開口1箇所以上 ・ 図示
 空調用吹出し (吸込み) パネル
 ※ なし
 ・ あり (※ 固定式 ・ 可変式) : 施工箇所 (※ 図示 ・)
 コンセント等の取付け対応 ※ 製造所の仕様による (コンセント本体は別途設備工事)
 コンセントの箇所数 ※ 図示
 ローリングロード性能 ※ 適用する ・ 適用しない 009

4 可動間仕切

構造形式	パネル部の 総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	表面仕上げ
・ スタッド式 (・ 内蔵 ・ 露出) ・ スタッドパネル式 ・ パネル式	・	※ 鋼板 (※ 0.6 ・ 0.8)	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け

遮音性能 ・ あり () ・ なし
 防火性能 ・ あり ・ なし

5 移動間仕切

遮音性能	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・ 一般タイプ		※ 鋼板	・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式
・ 遮音タイプ (36db以上)		※ 鋼板	・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事9壁紙張りによる。
 遮音性能はJIS A 6512の遮音性試験に準拠する。

表面仕上材材

表面材の材質	脚部		ドアエッジ	
	形状	材質	形状	材質
・ メラミン樹脂系化粧板	※ 幅木	・ アルミニウム製	・ 標準	・ アルミニウム製
・ ポリスチレン樹脂系化粧板	・ 支柱	・ ステンレス製	・ R	・ ステンレス製
・	・ なし			・ 表面材と同材

7 階段滑り止め

材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド
・ ステンレス (SUS304)	・ 約35	※ 接着工法	※ あり (※ ビニル製 ・ ステンレス製)
・ ビニル付入り	・	・ 埋込工法	・ なし

8 床目地棒

施工箇所 ()
 材質 ※ ステンレス ・
 厚さ (mm) ・ 5 ・ 6 ・
 高さ (mm) ※ 12 ・

9 黒板及びホワイトボード

種類	寸法 (mm)	色 彩	備 考
・ 黒板	※焼付け	※ 緑 ・ 黒	※ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分
・ ホワイトボード	※ほうろう	※ 白	※ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分

10 鏡

寸法 (mm) ⓧ 図示 ・
 厚さ (mm) ・ 5 ・

11 表示

区 分	材 質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付け高さ
・ 衝突防止表示 (・ 両面 ・ 片面)	※ ステンレス製	※ 30φ	※ 市販品	※ 図示
・ 室名札	※ アルミ板	※ 図示	※ 5	※ 図示
・ ピクトグラフ	・	・	・	
・ 扉番号				
・ 階数表示				
・ 建物案内板	※ アルミ板	※ 図示	※ 5	※ 図示
・ 各階案内板	・	・	・	

案内用図記号はJIS Z 8210による。
 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。

12 煙突ライニング

・ 煙突用成形ライニング材
 適用安全使用温度 ・ 400℃ ・ 650℃ ・
 ・ キャスタブル耐火材
 工法 ※ こて押え ・
 適用安全使用温度 ※ 400℃ ・

13 ブラインド

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	施工箇所
※ 横形	※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム合金製	※ 25	
・ 縦形	・ 1本操作コード ※ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ カラスラット	・ 80 ・ 100	

14 ロールスクリーン

材 種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	防火性能	施工箇所
※ ポリスチレン	・ 電動式	・ 1級	・ 図示	・ あり	
・ 綿	・ スプリング式	・ 2級		・ なし	
	・ フェン式	・ 3級			

15 カーテン

形 式	開閉操作	ひだの種類	施工箇所
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 電動 ・ ひも引き ・ 手引き	・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ

16 カーテンレール

材質 ※ アルミニウム製 ・ ステンレス製
 形式 ・ 片引き ・ 引分け
 形状 ・ C形 ・ D形 ・ I形 ・

17 ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ※ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示
 材質 ・ 集成材 (仕上げ:)
 ・ 鋼製 (仕上げ:)
 ・ アルミニウム製 押出型材 (市販品)
 表面処理
 ※ B-1 ・ B-2 (※ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)
 ・

18 プレキャストコンクリート

コンクリートの設計基準強度
 ※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m²を満足する調合強度
 ・ 図示
 配筋
 ※ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
 ・ 図示
 取付方法
 ※ 図示
 ・

19 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

材 種	材 種	種 類	質量区分
・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	—	—
・ コンクリート間知ブロック	・		・ A ・ B

20 天井点検口

材 種	寸 法	形 式	外 枠	内 枠
※ アルミニウム製	・ 450×450 ・ 600×600	・ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ・ 目地枠	・ 額縁枠 ・ 額縁枠

21 床点検口

材 種	寸 法	形 式	
※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ・ 鋳鉄製	・ 450×450 ・ 600×600	・ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ・ 屋内用 ・ 張物用 ・ 充填用 ・ 張物、充填兼用

22 防煙垂れ壁

材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※ 6.8 ・	※ 500 ・	アルミ製枠付き

種 類	材 質	高さ (mm)	備 考
・ 垂直降下式 (巻取り型)	※ 不燃布 (不燃認定品)	※ 500 ・ 800	ガイドレール ※ 固定式 (壁埋込み型) ・ 可動式 (天井収納型)
・ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800	表面仕上げ ※ 天井材張り

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込み型)

23 視覚障害者用床タイル

施工箇所	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内	※ 塩化ビニル製		
	・ レジンコンクリート製 ・ 磁器又はせっ器質タイル		
屋外	※ レジンコンクリート製 ・ 磁器又はせっ器質タイル		

ブロックパターンはJIS T 9251による。

24 車止め支柱

形 式	材 種	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)
・ 上下式鎖内蔵型 ・ 標準品 ・ スプリング式 ・	・ ステンレス製 ・	・ φ114.3 t=2.5 ・	・ GL+700 ・

25 フェンス

種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス
 ・ 樹脂塗装メッシュフェンス
 ・ 鋼管フェンス

26 敷地境界石標

種類 ※ コンクリートブロック製 (市販品) ・ 花こう石類 (文字記号等入り)
 設置方法
 根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。建込みは監督職員の立会いのもと行う。
 コンクリートの調合 (容積比) セメント1 : 砂2 : 砂利4程度

20 排水工事

1 排水管

排水管用材料		
材 種	管の種類	管形状 (接合方法)
※ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (※ 1種 ・ 2種)	・ B形 (ゴム接合) ・
・ 硬質塩化ビニル管	※ VP ・ VU ・ RS-VU G ・ RF-VP G	

車道部の排水管の敷設
 ※ 図示
 ・ 砂基礎 (地業厚さ20cm以上 材料 山砂の類)

2 鋼鉄製ふた

種 類	適用荷重 (安全荷重 (kN))	鍵
・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (パッキン式) ・ 密閉形 (テーパ・パッキン式) ・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式)	・ T- 2用 (5) ・ T- 6用 (15) ・ T-20用 (50)	・ あり ・ なし

3 グレーチング

種 類	形 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状
・ 鋼製 ・ ステンレス製	※ 受枠付き ボルト固定 ※ なし ・ 固定	・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 樹ふた用 ・ かき上げ用 ・ U字溝用	・ 歩行用 ・ T- 2用 ・ T- 6用 ・ T-14用 ・ T-20用	※ 細目 ※ 普通目 ・ 細目	※ 凹凸形 ※ 平形 ・ 凹凸形

4 埋戻し土

種別 ※ B種 ・

■ 工 事 概 要	工 事 名 称	旧畠山一清邸新座敷移築復元工事				■ 外 部 仕 上 表	構 造 材	既存材（桧・杉・樺）			
	建 築 主	蕪崎市長 内藤久夫					屋 根	既存本いぶし瓦／新規銅板一文字葺き t=0.35 下地：既存杉野地板 t=18+既製トントン葺ルフイング＋瓦棧			
	建 設 地	山梨県蕪崎市神山町鍋山内					屋根雪止め	既存東面雪止め瓦			
	用 途 地 域	都市計画区域内（用途地域指定なし、市街化調整区域外）					雨 樋	新規銅板半月形軒樋 φ105 + 集水器 + φ60堅樋			
	その他地域・地区	防火地域指定なし / 22条区域外					軒 天	既存杉化粧野地板表し(上小節) t=12			
	構 造・用 途	木造在来軸組工法平屋建て及び地階 / 集会場（茶室広間）					外 壁	漆喰塗り仕上げ 下地：竹小舞＋土壁＋ファイバーメッシュ＋カーボソフィア			
	敷 地 面 積	(登記簿面積)					外部腰壁	モルタル薄塗補修＋撥水保護塗料塗布 下地：基礎コンクリート打ち直し			
		計 画 部 分	計 画 以 外 の 部 分	合 計	率		水 切 り	土台水切り銅板加工 t=0.35			
	建 築 面 積	53.63㎡					外部建具	既存木製建具			
	床 面 積	1階：	49.44㎡				基 礎	鉄筋コンクリート基礎（鉄筋 D-13 @200）			
		地階：	48.34㎡				外階段・チ	既存礎石及び飛び石			
		合計：	97.78㎡				西及び北出入口	コンクリート掻き落し仕上げ			
建 物 高 さ	最高高さ 5,760 mm / 最高軒高 4,477 mm				東濡縁下土間	山砂モルタル掻き落し仕上げ					
電気設備・空調	電灯 / コンセント / 弱電 / 換気設備 / 冷暖房空調設備				断 熱 材	1階天井裏：グラスウール断熱材24Kア100敷き込み					
給排水衛生設備	水屋及び洗面所：給水 / 排水（浄化槽より水路へ放流）										
消防用防災設備	消火器										
付 帯 工 事	渡り廊下より付属建物に接続、腰付き待合の移築				空 調	奥座敷、床の間、水屋：ビルトインタイプエアコン(ダクト外式、本体押し入れ内設置)					

階	室 名	床		床高	巾 木	壁		天 井		天井高	廻 縁	造付家具・その他	設 備 機 器
		床 下 地	床 仕 上			壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上				
地 階	地階板の間	基礎耐圧コンクリート t=200	土足用床板ア15	1FL±0	桧H=90	腰壁：南蛮漆喰ア9	漆喰塗り仕上げ	木ズリ下地ア6	漆喰塗り仕上げ		木ズリ下地ア6		換気扇
		根太75*75*φ303			OSCL仕上げ	腰上：丸竹（女竹）小舞下地					南蛮漆喰ア9		
	階段室及び上口	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上		押入床：既存床板 押入壁：漆喰塗り 押入天井：既存無垢板棹縁羽重ね張り	
1 階	次 の 間	既存根太60*120+床下地ア12	畳（本床）ア60	2FL±0	既存畳寄せ	丸竹（女竹）小舞下地	京壁掻き落し仕上げ	木天井下地	既存無垢天井目透かし張り	2,398	既存木製廻縁	同上	押入れ内ハウジングエアコン設置 押入れ衾へ開口を設置して吹出口とする
		既存チャンセル鋼75*180*φル*5			幅木紙貼H175	土壁下地＋ファイバーメッシュ							
	本 席	同上	同上	同上	同上	幅木紙貼H175			既存無垢天井突付け張り	2,473	同上	床間：本床、漆喰壁、アチ無垢天井 床脇：地袋、天袋、京壁掻き落し 押入：既存床板、漆喰壁、棹縁天井	天井ビルトインダクトエアコン 吹出口を床脇の天袋と垂れ壁隙間に設置 小屋裏内換気扇
		同上	同上	同上	同上	幅木紙貼H175			廻り縁取合い換気スリット透かし			飾り床：地袋、下り壁、京壁掻き落し	
	水 屋	同上	同上	同上	同上	同上	同上（南面、東面）	同上	既存無垢天井太棹縁羽重ね張り		同上	同上	天井ビルトインダクトエアコン 水屋脇の押入れ壁へ吹出口設置 水屋給排水設備
		同上	同上	同上	同上	同上	同上（北面、西面）	同上	廊下まで一天井				
	廊 下	同上	同上	同上	同上	幅木紙貼H175			水屋まで一天井				
		同上	同上	同上	同上	幅木紙貼H175			廊下まで一天井				
便 所	同上	既存縁甲板ア15	-12	既存木製H=180	同上	京壁掻き落し（隔て和便側） 隔て壁漆喰塗り（隔て小便側）	同上	網代天井		同上			
	同上	小便器部床タイル仕上げ 25角		無塗装	同上	小便器前既存縦板張り	同上	網代天井		同上			
階 段 室				既存階段サツ板	同上	漆喰塗り仕上げ	同上	既存無垢天井棹縁羽重ね張り		同上	収納床：既存床板 収納壁：漆喰塗り、既存棚板 収納天井：既存無垢板棹縁羽重ね張り		